



健やか豆知識

第13回

Q.

エアロゾルタイプ
(ガスとともに、シュッと薬剤が噴霧されるタイプ)の
**吸入薬は深く吸って、ゆっくり吐きますが、
吸うときの速さで正しいのはどれでしょうか。**

- Ⅰ ふだんの呼吸の速さで吸う Ⅱ すばやく吸う Ⅲ ゆっくり吸う



ぜん息の吸入薬は、正しく使いましょう!

アレルギーの病気は、お薬の開発が進んで劇的にコントロールできるようになりました。とくにぜん息管理の向上は目覚ましく、ついにぜん息の発作で亡くなる子どもはゼロとなりました。

近年、お薬の管理の上で注目されているのがアドヒアランスの向上です。アドヒアランスとは、「患者が医師と一っしょに治療の方法を決めて、患者自ら積極的に治療を進めること」です。子どものアドヒアランス向上には、年齢に応じた指導だけでなく、服薬させる保護者の理解も重要です。医薬品特有の苦味、酸味、におい、舌触り等は、子どもの服薬アドヒアランスを著しく低下させます。医師や看護師、薬剤師らとコミュニケーションを密に取り、お薬が飲めないことに悩んだら相談しましょう。病気への理解を深めることはアドヒアランス向上につながります。

ぜん息の治療においては、吸入薬の正しい吸入方法を学ぶことも大切です。とくにエアロゾルタイプの吸入薬は、スプレー(筒状の吸入補助器具)を用いて吸入することが、治療ガイドラインで推奨されています。正しく使わないとお薬が気道に届かず、思ったような効果が得られません。

主な吸入薬の正しい使い方は、①吸入薬を数回よく振り、②スプレーに正しくセットして、③正しい吸入姿勢をとります。④十分に息を吐き出し、⑤ポンペを押し薬剤がスプレー内に噴霧されたら、ふだんの呼吸の速度で深く吸い、⑥3~5秒間、息を止めて、⑦ゆっくり鼻から息を出します。

詳しい使い方は医師や看護師、薬剤師に確認して、正しく使えるようにしましょう。

監修 **今井 孝成** 昭和大学医学部小児科 教授

< ① 掘玉 >

さらに詳しい情報は
ホームページで!



高田製薬は、患者さんや医療関係者の声に耳を傾け、医療ニーズに合った医薬品の開発と情報提供で、健康な社会づくりに貢献します。

— 人びとの健康を願って —
高田製薬株式会社